



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年8月5日

上場会社名 株式会社フレアス 上場取引所 東  
 コード番号 7062 URL <https://fureasu.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)澤登 拓  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員財務経理部長 (氏名)佐藤 真悟 (TEL)03(6632)9210  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2020年3月期第1四半期の業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	944	—	34	—	37	—	21	—
2019年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	9.37	8.95
2019年3月期第1四半期	—	—

(注) 2019年3月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、2019年3月期第1四半期の数値及び2020年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,428	1,462	60.2
2019年3月期	2,491	1,307	52.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 1,462百万円 2019年3月期 1,307百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2020年3月期の業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,957	—	73	—	79	—	44	—	19.14
通期	4,192	13.0	291	5.4	333	6.5	186	5.8	80.36

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2019年3月期第2四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2020年3月期第2四半期(累計)の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	2,328,600株	2019年3月期	2,250,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	一株	2019年3月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	2,309,597株	2019年3月期1Q	2,000,000株

(注) 2019年1月8日付で普通株式1株につき20株の株式分割を行っておりますが、2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、米国の保護主義的姿勢の高まり等の影響により依然として不透明な状況が続いております。

当社が属する在宅マッサージ業界及び訪問看護業界におきましては、少子高齢化が加速する一方で、医療機関における病床数の減少が見込まれるとともに、特別養護老人ホーム等の介護施設の待機者数は、年々増加傾向にあり、政府による地域包括ケアシステムの構築の推進活動と相俟って、在宅療養の重要性がますます高まってきております。

このような状況のもと、当社では、主要事業であるマッサージ事業において、首都圏に次いで高齢者人口の多い大阪地域で初めての新店となる吹田事業所を開設するなど、積極的にサービス提供エリアの拡充を図るとともに、既存事業所においてもサービス品質の向上を図るべく人員の確保及び人材育成に取り組んでまいりました。また、株式会社星野リゾートとの業務提携についても、同社が運営する宿泊施設である「界」12施設及び「リゾナーレ」1施設において、保険適用外となる、マッサージサービスまたはSPA（スパ）サービスを引き続き提供してまいりました。一方で、今後のさらなる事業拡大を見据え、人材採用体制の強化及び採用活動の積極化に努めたことにより、採用関連コストが増加いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は944,358千円、営業利益は34,942千円、経常利益は37,324千円、四半期純利益は21,640千円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① マッサージ事業

マッサージ事業は、新規事業所の開設により新たな地域における利用者ニーズを取り込むとともに、既存店においても、一層の収益力の強化を目的として、ケアマネジャーへの営業訪問を通じた当社サービスの認知度向上に努めてまいりました。また、訪問鍼灸事業の事業譲受け等により提供サービスを拡充するなど、事業基盤のさらなる強化に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は867,869千円、セグメント利益は194,704千円となりました。

#### ② その他の事業

その他の事業セグメントに含まれる主な事業である訪問看護事業は、地域のケアマネジャーに対する営業の強化を通じて、当社サービスの認知活動を推進してまいりました。一方で、売上高の増加に応じた人員の採用や退職者の補充採用に伴い、採用関連コストが増加いたしました。

以上の結果、売上高は76,488千円、セグメント利益は3,835千円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は2,306,283千円となり、前事業年度末に比べ57,366千円減少いたしました。これは主に、売上高の増加に伴い売掛金が77,446千円増加した一方で、法人税等の納付等により現金及び預金が143,855千円減少したことによるものであります。

固定資産は、121,914千円となり、前事業年度末に比べ6,059千円減少いたしました。これは主に、事業譲受けに伴ってのれんを6,006千円計上した一方で、繰延税金資産が8,411千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は2,428,197千円となり、前事業年度末に比べ63,426千円減少いたしました。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は509,969千円となり、前事業年度末に比べ171,822千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が145,774千円減少したことによるものであります。

固定負債は455,651千円となり、前事業年度末に比べ47,022千円減少いたしました。これは主に、長期借入金が47,785千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は965,621千円となり、前事業年度末に比べ218,844千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,462,576千円となり、前事業年度末に比べ155,417千円増加いたしました。これは、第三者割当増資による株式の発行に伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ66,888千円増加したこと、及び四半期純利益を21,640千円計上したことによるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、マッサージ事業の非連続的成長の実現により利用者のさらなる増大を図るための事業戦略として介護施設等の法人営業の強化に取り組んでおりますが、そのためのサービス提供エリアのさらなる拡充を目的として、2019年7月13日付でフランチャイズ事業の本格的な展開を開始いたしました。また、こうした社内外の環境変化に、より迅速かつ機動的に対応できる採用体制を構築することを目的として、あん摩マッサージ指圧師、看護師及び相談員等の採用活動を専門的に実施する人員を増員し、人材確保の一層の強化を図ってまいりました。これらの影響につきましては、中長期的には当社の業績向上に資するものと考えておりますが、2020年3月期の業績に与える影響は精査中であり、現時点では2019年5月17日の「2019年3月期 決算短信」で公表しました業績予想から変更はありません。

なお、当該業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,365,964	1,222,108
売掛金	976,226	1,053,672
貯蔵品	919	931
その他	25,421	32,249
貸倒引当金	△4,882	△2,678
流動資産合計	2,363,649	2,306,283
固定資産		
有形固定資産	24,347	22,821
無形固定資産	32,974	37,085
投資その他の資産	70,651	62,007
固定資産合計	127,974	121,914
資産合計	2,491,623	2,428,197

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	222,707	215,921
未払法人税等	156,043	10,269
賞与引当金	70,811	30,726
その他	232,229	253,052
流動負債合計	681,792	509,969
固定負債		
社債	140,000	140,000
長期借入金	343,750	295,965
退職給付引当金	18,923	19,686
固定負債合計	502,673	455,651
負債合計	1,184,465	965,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	222,750	289,638
資本剰余金	212,750	279,638
利益剰余金	871,658	893,299
株主資本合計	1,307,158	1,462,576
純資産合計	1,307,158	1,462,576
負債純資産合計	2,491,623	2,428,197

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	944,358
売上原価	541,515
売上総利益	402,842
販売費及び一般管理費	367,900
営業利益	34,942
営業外収益	
助成金収入	2,900
その他	811
営業外収益合計	3,711
営業外費用	
支払利息	931
その他	397
営業外費用合計	1,329
経常利益	37,324
税引前四半期純利益	37,324
法人税、住民税及び事業税	4,707
法人税等調整額	10,975
法人税等合計	15,683
四半期純利益	21,640

### (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年4月23日を払込期日とするオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資による新株式78,600株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ66,888千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において、資本金が289,638千円、資本剰余金が279,638千円となっております。

(セグメント情報等)

#### 【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

#### 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期財務諸表 計上額 (注) 3
	マッサージ	計			
売上高					
外部顧客への売上高	867,869	867,869	76,488	—	944,358
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	867,869	867,869	76,488	—	944,358
セグメント利益	194,704	194,704	3,835	△163,597	34,942

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問看護事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

当社は、マッサージ事業の非連続的成長の実現により利用者のさらなる増大を図るための事業戦略として介護施設等の法人営業の強化に取り組んでおりますが、そのためのサービス提供エリアのさらなる拡充を目的として、フランチャイズ事業の本格的な展開を開始いたしました。

## 1. 本事業の概要

### (1) 本事業の内容

保険適用マッサージサービスに係るフランチャイズ事業

### (2) 本事業を担当する部門

法人事業開発部

### (3) 本事業の本格展開のために特別に支出する金額及び内容

本事業を担当する部門における増員に係る人件費やフランチャイズオーナーの募集に係る広告費等が支出として見込まれますが、事業環境の変化等による変動の可能性を踏まえ精査中であります。

## 2. 日 程

(1) 取締役会決議日	2019年7月12日
(2) 事業開始期日	2019年7月13日

## 3. 今後の見通し

本事業の本格展開は、中長期的には当社の業績向上に資するものと考えておりますが、2020年3月期の業績に与える影響は現在、精査中であります。今後、業績予想の修正の必要性や公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせ致します。